

あさみどりの会 令和3(2021)年度事業報告

社会全体が新型コロナウイルスの脅威にさらされるようになってから丸2年以上が経過した。未だ収束が見通せないままに「with コロナ」の生活様式がもはやあたりまえの世の中となり、今年度も各事業所とも、感染予防対策の徹底を常に念頭に置きながらの事業運営となった。それでも法人グループ内で身近な関係者に陽性者や濃厚接触者が散見される事態が随時発生し、あさみどりの風においては2月に発生した感染は収束までに1か月近くを要し、会から一時備品や人員の応援を行った。今後もウィルスの変異が繰り返されていく予測の中で不安感は付きまとうが、人間関係の構築を基盤に人の暮らしを支えていく私たちの事業活動においては、この先も日常の予防対策にはそれぞれが万全を期し、必要な事態となればグループ内での連携、協力をし合いながら事業活動を継続していくことが肝要である。

このような状況下ではあったが、法人事業としては令和2年度やむなく中止とした「心身障害問題を考える集い」と「フォーラムあさみどり」をオンライン（Zoom）にて開催することができた。画面上のやり取りや操作に戸惑う場面がまだ多いとはいえ、遠方からであっても多数が参加して会議や研修が開催できるスタンダードなシステムとして今後もさらに活用していくための経験ができ、今や各種会議や研修にもかなりの頻度で取り入れられるようになってきた。所謂「コロナ社会」の中で、法人の重要な事業活動をより有効に地域、関係者に届けていくためには、こういったシステムに如何に順応し活用していけるかということが将来に亘って大変重要と思われる。

残念ながら公益を目的とする事業の内、各所の祭りをはじめとする集客イベント（地域啓発事業）や療育キャンプ（野外活動事業）などは、今年度もほぼ休止を余儀なくされた。法人の特徴的な活動であるだけに開催できない状況は寂しい限りである。折しも来年度は法人が設立して50周年という大きな節目を迎える。今まで大切にしてきた関わる人同士のつながり、絆を実感できるように少しでも状況が好転することを願うばかりである。

1 組織強化

(1) 理事会

- ①書面審議 理事会決議及び報告のみなし日 令和3(2021)年5月25日(火)
提案事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について
第2号議案 令和2(2020)年度事業報告について
第3号議案 令和2(2020)年度決算について
第4号議案 諸規程の改定及び新設について
第5号議案 新評議員の候補者について
第6号議案 評議員会への提案の件
報告事項 報告第1号 各事業所の新型コロナウイルス感染への対応について
報告第2号 べにしだの家新規作業棟の建設工事入札結果と資金計画について
報告第3号 身元保証書の取り扱いについて
報告第4号 その他
理事同意書 後藤秀爾 椿 泰廣 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
監事確認書 菅沢 豊 渡邊 勝
- ②開催日時 令和3(2021)年6月14日(月) 午後6時00分から6時30分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 椿 泰廣 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
出席監事 菅沢 豊
欠席監事 渡邊 勝
決議事項 第1号議案 理事長の選定について
第2号議案 業務執行理事(専務理事)の選定について
第3号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- ③開催日時 令和3(2021)年11月15日(月) 午後6時15分から7時00分まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 椿 泰廣 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
出席監事 菅沢 豊
欠席監事 渡邊 勝
決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について

- 第2号議案 定款及び諸規程の改定について
 第3号議案 評議員会の開催について
 報告事項 報告第1号 こがもホーム改修工事について
 報告第2号 あらくさ作業室の独立について
 ④開催日時 令和4(2022)年3月22日(火) 午後6時00分から8時00分まで
 開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
 出席理事 後藤秀爾 椿 泰廣 島田修三 島崎徹也 山本智恵 追分伸夫
 欠席監事 菅沢 豊 渡邊 勝
 ※会議当日に監事2名の欠席が判明したため、別途決議事項の確認書にて議事録及び資料の確認をすることとした。
 決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について
 第2号議案 令和4(2022)年度事業計画について
 第3号議案 令和4(2022)年度予算について
 第4号議案 諸規程の改定について
 第5号議案 評議員会の開催及び提案事項について
 第6号議案 評議員選任・解任委員の選定について
 第7号議案 評議員選任・解任委員会の開催について
 第8号議案 会社役員賠償責任保険の更新について
 報告事項 報告第1号 令和4(2022)年度職員人事について
 報告第2号 その他

(2) 評議員会

- ①書面審議 理事会決議及び報告のみなし日 令和3(2021)年6月8日(火)
 提案事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について
 第2号議案 令和2(2020)年度決算の承認の件
 第3号議案 理事、監事の選任について
 報告事項 報告第1号 令和2(2020)年度事業報告及び諸規程改定について
 報告第2号 各事業所の新型コロナウイルス感染への対応について
 報告第3号 べにしだの家新規作業棟の建設工事入札結果と資金計画について
 報告第4号 新評議員について
 報告第5号 身元保証書の取り扱いについて
 評議員同意書 鵜飼信孝 浅井 勉 綱木みどり 青山達雄 手嶋雅史 森 弘典 野々山郁 坪内勝彦
 ②開催日時 令和3(2021)年12月9日(木) 午後6時00分から7時00分まで
 開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
 出席評議員 鵜飼信孝 青山達雄 坪内勝彦 野々山郁 渡邊幸良
 欠席評議員 手嶋雅史 森 弘典
 出席理事 島崎徹也 追分伸夫
 決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について
 第2号議案 定款の改定について
 報告事項 報告第1号 べにしだの家運営規定の改定について
 報告第2号 こがもホーム改修工事について
 報告第3号 あらくさ作業室の独立について
 ③開催日時 令和4(2021)年3月29日(火) 午後6時00分から8時00分まで
 開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
 出席評議員 坪内勝彦 青山達雄 森 弘典 渡邊幸良
 欠席評議員 鵜飼信孝 野々山郁 手嶋雅史
 出席理事 島崎徹也 追分伸夫
 決議事項 第1号議案 令和3(2021)年度予算の一部補正について
 第2号議案 令和4(2022)年度事業計画について
 第3号議案 令和4(2022)年度予算について
 報告事項 報告第1号 諸規程の改定について新型コロナウイルス感染について
 報告第2号 令和4(2022)年度職員人事について

(3) 施設長会<全20回開催>

*あさみどりの風との合同

4月8日、5月12日、7月13日、8月19日、10月18日、12月21日、1月25日
3月1日(8回)

*会のみ

6月10日、9月9日、11月10日、2月15日、3月8日(5回)

*臨時

4月19日、4月28日、5月7日、9月10日、10月14日、2月3日、2月7日(7回)

(4) 施設長・主任会<全3回開催>

4月22日、10月28日、1月27日

(5) 職種別部会

*支援スタッフ部会：1回開催

*共同生活事業所スタッフ部会：11回開催

*事務担当者部会：2回開催

(6) 委員会

*ボランティア育成委員会：19回開催 (Vo. サークル連絡協議会、Vo. スクール企画会議含む)

*療育研究活動委員会：12回開催

*広報委員会：4回開催

(7) プロジェクト会議

CA会議 (Challenged Approach・障害者雇用準備会議)：4回開催

2 事業

(1) 社会福祉事業 (各事業所報告参照...P9～)

(2) 公益を目的とする事業

ア) 療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

① 療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	8	2	10	11	4	9	9	16	2	3	8	20	102
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	2	10	11	4	9	9	16	2	3	8	20	102

①-2 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6歳未満	7	2	10	11	4	9	9	16	2	3	8	20	101
6歳以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	8	2	10	11	4	9	9	16	2	3	8	20	102

② 在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	3	10	21	12	10	10	19	3	16	1	5	2	112
対象人数	25	53	190	92	0	76	62	2	75	6	26	0	607
援助者数	16	24	59	36	104	27	75	6	113	10	59	8	537

【療育グループ活動状況（9団体）】

グループ名	主 な 活 動	代表者
同朋大学 心身障害福祉研究会	つぼみの会・千種青年学級・千種区手をつなぐ育成会等における療育援助活動	宮本泰地
新池子どもクラブ ボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	平野飛鳥
南山大学 ボランティアサークル	児童養護施設溢愛館・若水授産所・フロアバレー・あさみどりの会等における療育援助活動	船田杏里
椋山女学園大学 うえるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	立花涼夏
らいぶ游	手作りバリアフリーライブイベントの企画、開催	種田勝利
なないろコンサート 実行委員会	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	丹下 靖
ボランティアスクール 企画委員会	ボランティアスクール（全5講）の企画、開催	伊東宏崇
ジャイアントステップス	利用者主体の余暇及び社会参加活動の支援	中野則恵
あらくさサポートクラブ	あらくさ作業室及びグループホーム利用者互助共助のネットワークによる支援活動	島崎徹也

③ 療育グループ

③-1 学童療育グループ（しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	12	8	3	8	6	0	13	10	11	7	2	3	83
参加人数	76	41	20	46	23	0	69	53	67	26	9	20	450
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③-2 乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	6	4	8	6	0	10	6	6	8	6	5	4	69
参加人数	66	50	110	90	0	124	93	99	148	93	94	89	1056
ボラ参加	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④ 母親研修会(心身障害についての基礎学習) ※コロナ感染防止のためすべて中止

イ) ボランティア育成事業

社会人及び学生を対象に、福祉に対する啓発と参加を意図した基礎的、専門的学習の機会を設け、ボランティア実践への方向づけを行うとともに、すでに実践活動に入っているサークル及び個人への支援を行った。今年度は新型コロナウイルス感染の拡がりから、すべてオンラインでの開催とした。

① ボランティア・スクール(年1回、中日新聞社・中日新聞社会事業団共催)

第77回(3講座 受講者88名) ※コロナのためオンラインで開催

月	日	テ ー マ	講 師 (敬称略)	参加人数
11	17	幸せのカタチ。 ～わを通してみえたもの～	福祉番組「ともみとともに」パーソナリティ 林 ともみ 氏	31
11	24	いのちに寄り添う ～誰もが誰かのゲートキーパーに～	南山大学社会福祉研究所 准教授 森山 花鈴 氏	29
11	27	ボランティアについて考える	名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター 副所長 野川 祐史 氏 らいぶゆうマスター 種田 勝利 氏	28

② ボランティアグループの育成（サークル助成金）

月 日	助成団体	活動回数	助成金額
4 随 時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会	療育援助事業及びボ ランティア育成事業 に計上	各サークル 20,000円
前期			
10~ 随 時	同朋大学心身障害福祉研究会 新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル ボランティアスクール実行委員会 椋山女学園大学うえるかむ なないろコンサート実行委員会 ボランティアスクール企画委員会	療育援助事業及びボ ランティア育成事業 に計上	各サークル 20,000円 ※ボランティアスク ール企画委員会は 30,000円
後期			

③ なないろコンサート（12月5日/会場：べにしだの家）参加者：57名内ボランティア9名

④ あさみどりボランティアサークル連絡協議会（オンライン）

	会議内容	出席者	参加人数
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・あさみどりの会のボランティアについて ・ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 ・法人各事業所年間行事予定の案内 ・ボランティアスクールの案内 ・情報交換 	団体 5名 個人 1名 法人職員 6名	12

⑤ ボランティア受入状況（行事参加等も含む）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	0	1	0	5	0	2	8	1	0	0	0	17
べにしだの家	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	1	4	0	0	3	7	0	16	7	38
計	0	0	1	1	9	0	2	11	8	0	16	7	55

⑥ 学校実習・体験実習（障がいのある方等の受入れは除く）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	0	32	18	0	0	10	53	26	0	27	0	166
べにしだの家	0	0	1	1	3	0	10	12	0	2	6	5	40
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2	12
れいんぼうワークス	0	0	0	0	28	0	49	8	0	0	0	0	85
計	0	0	33	19	31	0	69	73	26	2	43	7	303

ウ) 地域啓発事業

オンラインも駆使しながら福祉活動への参加や研修、学習の機会を提供し、コミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

① 機関誌『療育援助』の発行(月1回) 発行回数12回 発行部数 毎回1,000部

配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	439	457	456	455	454	456	455	454	453	450	452	452	5,433
手渡数	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	6,240

②第58回心身障害問題を考える集い（オンライン開催）

月 日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
7 3	コロナ後を見据えた地域づくり	早稲田大学法学学術院教授 菊池 馨実 氏	54

③第14回フォーラムあさみどり（オンライン開催）

月 日	テ ー マ	講 師（敬称略）	参加人数
11 20	人づくりの中で見えてくる未来	植草学園大学副学長 野澤和弘 <座談会> 田中雅樹・渡邊裕介。倉嶋昌之	62

- ④ れいんぼう祭 …事業所内で利用者のみ参加とし、感染対策を十分に取りながら実施。
- ⑤ しんいけ盆おどり
- ⑥ さわらび運動会
- ⑦ わらび秋まつり
- ⑧ べにしだ祭
- ⑨ さわらび祭
- ⑩ しんいけ子どもクラブ …9月、2月はコロナ感染防止のため中止
- ※コロナ感染防止のため中止
さわらび運動会は園内で開催した

月 日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
7 18	レクリエーション	16	5
11 28	身体を動かそう	9	4
12 26	クリスマス会	7	4

⑪ 施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園		0
べにしだの家	ヨガ教室	4
あらくさ		0
れいんぼうワークス		0

⑫ らいぶ遊（年間4回開催／会場：べにしだの家／延参加ボランティア：149名）

月 日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数 【出演者含む】
6 12	命どう宝	0	18
8 7	OBON SUMMER FESTIVAL	0	36
10 9	文化祭	0	40
12 19	クリスマス会	0	52
2 26	ON～恩・温・音～	0	20

※全てライブ配信限定のため参加者はボランティアのみ（スタッフ・出演者）

⑬ 事業所見学会（障がいのある方の生活を支える支援者養成講座）

月日	テーマ	場所・講師	参加人数
7 30.31	グループホーム見学会・説明会	べにしだ共同生活援助事業所	7
1 14.15.24	グループホーム見学会・説明会	べにしだ共同生活援助事業所	8
2 3.4.5.7	グループホーム見学会・説明会	れいんぼう共同生活援助事業所 (4日はオンライン)	8

エ) 野外活動事業（詳細は事業所報告参照）

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。

さわらび園親子療育キャンプ(中止) / あらくさ作業室山の家合宿(中止)
れいんぼうワークス山の家合宿(中止) りとる・ジョイフル親子療育キャンプ(中止)
新池子どもクラブ・サマーキャンプ(中止)
学童合宿

オ) 家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。5月19日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年2回（うち1回は成人施設合同）等を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(3) 職員研修

①法人全体研修

ア) 4月3日(土) <オンライン>

「法人の理念および権利擁護について」

「自閉スペクトラム症の子どものからだことば -事例を通してみんなで学ぶ-」

内容：講義、グループワーク

イ) 9月4日(土) <オンライン>

「利用者さんニーズと社会参加支援 -私たちの実践をきっちり共有するために-」

内容：シンポジウム（各事業所の実践発表）

②初級職員研修

7月10日(土) <オンライン> 18人参加

内容：事業所紹介、グループワーク

③ホーム新人世話人研修（5月11日 べにしだの家 10人参加 講師3名 スタッフ4名）

内容：グループホーム及び障がい（特性含む）について。ホームでの業務について。

てんかん発作について。AED講習。交流他

④4年目研修（実施なし）

⑤階級別（中級・上級）研修

ア) 宿泊型療育実地研修 <新型コロナウイルスの影響により中止>

イ) インシデント・プロセス研修 さわらび園にて年4回開催/講師：小野宏氏（精神科医）

参加対象人数：9名

⑥発達障害対応研修

○講師：小林信篤氏（横浜やまびこの里）

わらび福祉園：6月13日・3人参加

れいんぼうワークス：6月26日・17人参加/8月28日・13人参加/1月29日・13人参加

べにしだの家：6月26日・7人参加/8月28日・7人参加/1月29日・7人参加

⑦各施設におけるその他の研修活動 各事業所報告等参照

⑧外部研修への参加 各事業所報告等参照

⑨社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励

(4) 苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成13年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要のあるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。令和3年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	べにしだ	れいんぼう
苦情処理票等により処理した件数		1	4	1
申 出 者	利用者本人	0	1	0
	利用者の家族	0	2	1
	近隣住民・その他	1	1	0
内 容	利用者に対する職員の対応	0	1	0
	利用者に対するサービス向上	0	1	0
	利用者の生活環境の改善	0	0	0
	施設・事業運営に対する不満	0	1	0
	その他	1	1	1
方 法	職員・施設長と解決策を協議	1	4	1
	要望どおり解決できないことを説明	0	0	0
結 果	解決の方法・内容に納得した	0	1	1
	解決の方法・内容に不満がある	0	1	0
	処理結果を職員に周知する	1	2	1

苦情処理した件数は、さわらび園1件、べにしだの家4件、れいんぼうワークス1件であった。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

1. 総括

【さわらび園】

各事業共に新型コロナウイルスの感染防止対策を継続しながら、利用児と家族への支援を行った。緊急事態宣言やまん延防止重点措置の期間は、予定していた活動の中止や変更を行いながら、事業継続を図った。5月に園児のコロナ感染が確認され、臨時休園の措置をとったが、幸いなことに感染の拡大には至らなかった。また、年度後半にも家庭内感染から園児や保護者に陽性者が出たが、他の園児や職員に感染は広がらずに済んだ。日々の感染防止対策と、家族の協力によるところが大きいのと思われる。

児童発達支援事業については、定員の約半数を新入園児として受け入れ、年度当初より定員を満たしてのスタートとなった。令和3年度も時差登園を継続しながら、集団の人数や活動内容によって活動スペースを工夫して療育を行った。保護者支援については、週1回の母子療育とグループカウンセリング（半日）を実施し、年度後半にはグループカウンセリング時にサポートブックの作成やペアレントトレーニングを行う企画を立てたが、まん延防止期間と重なったこともあり、部分的な実施に留まった。行事については、内容によってグループ毎の実施や2回に分けて行う等の工夫をし、宿泊を伴う行事については子どものみの参加とした上で、日程を分散して行った。コロナ禍になり、母子療育の機会の減少や、保護者同士の交流の機会が減っていることもあり、母子関係や家庭への養育に少なからず影響が出ている状況が見受けられるため、保護者支援の在り方については次年度以降の検討課題でもある。

名古屋市の療育グループ事業は、昨年度と同様に1グループの人数を限定して開催した。就園前グループ(りとりG)については、療育時間を短縮し2部制としたが、出席率は高く、ニーズが高いことが伺えた。また、令和3年度は早い時期から通園の見学会を企画し、次年度の進路について相談にのる機会を持った。それもあってか、例年より早い時期に次年度の通園を希望する児童が多かった。

学齢児のアフターケアについては、学童療育と放課後クラブは感染対策を徹底した上で実施したが、合宿については一部のみの開催とした。合宿や高校生以上の本人活動の再開については、次年度より予定している。

保育所等訪問支援事業については、訪問先と当園の一方にコロナの感染リスクがある場合は中止する対応をとるなど、コロナの状況を踏まえて訪問先との調整を行いながら実施した。実績としては、コロナ禍以降、横ばいの状況にある。

障害児相談支援事業については、緊急事態宣言時や園内でコロナ感染の対応時などの家庭訪問の実施は、電話での聞き取りを入れて訪問時間を短縮する工夫をしたり、玄関先での訪問にするなどの対応をとりながら行った。自立支援協議会については、オンラインを駆使して部会の開催を行い、地域の事業所との連携を図った。

地域啓発のイベントについては、昨年度と同様に、盆踊り、さわらび祭ともに中止としており、今後、再開を検討するにあたっては、イベントの持ち方や内容の工夫などが課題となってくる。

【べにしだの家】

新型コロナウイルス感染症への対応については、令和2年度の経験を踏まえた上で普段の対策、また緊急事態宣言及びまん延防止等の発令に即応できる対策など、職員スタッフの意識も高く迅速かつ徹底した対応が取れていた。そうした職員スタッフ全員の努力もあり、令和3年度は通所利用者1名の感染はあったものの、1年間大きなクラスター等もなく終えることができた。

日中活動（生活介護）については、新作業棟の完成に伴い、当初から予定していた一部作業室メンバーの再編を行った。また、おあしすくんの活用やアート活動については名古屋市の就労支援に係る窓口事業の専門講師の派遣を利用して商品化等のアドバイスを受け、ネットワークの構築や著作権の規程整備等を行い、来年度以降により具体的に動き出すための環境を整えることができた。あらくさ作業室の独立については、令和4年4月の事業開始を予定していたが、20人定員に対して確定利用者が13人ということで新規利用者が足りない状況もあり令和5年度4月の独立に向けた計画に変更することになった。

入所支援については、ホーム化に向けて名古屋市との協議を7月と3月の2回行った。名古屋市としては入所を増やさないがこれ以上減らさない方針であることの明言があり、べにしだとしても個々の利用者への支援がホームと同様に保障されることが第一議であり、名古屋市として独自の施策によりそのことが担保されればホーム化に固執するものではないことを伝え、名古屋市の第7期の福祉計画を念頭におきながら引き続き協議を継続していくことで合意を得た。

共同生活援助は、年度後半に正規職員の世話人4人（女性スタッフ）の退職が重なり、人員配置に窮する状況が1月から続いている上に補充人員の確保も儘ならない状況が最大の懸案事項になっている。ただ、そうした状況ながら、利用者個々の長年の自立生活の積み重ねもあり、総体的には利用者自身に大きな動揺もなく落ち着いたホーム生活がなされている。

相談支援事業は、年度を通して基本相談の件数が905件あり、このコロナ禍であってもあらためて相談支援の核になるのは基本相談であることを実感する。また、地域支援のネットワーク作りも相談支援の核の一つであるが、それについては自立支援協議会等への参加がコロナ禍でままならなかったこともあり、今年度はあまり動きの取れない状況であった。

利用者状況に関しては、利用者本人の高齢化、家族の高齢化に伴い、入所及びホーム共に週末滞在者が増加傾向にあり、いよいよ365日に対応する職員配置と支援体制の構築が急がれる事態になってきている。また、医療体制についても、看護師配置はもとより地域医療との連携強化も含めて再構築をしていく段階に入ってきていると思われる。特に今年度はコロナワクチンの接種に関して地域の医療機関の協力もあり、利用者及び職員のほとんどが3回接種を完了できたことは、今後の上記再構築に向けて好材料であった。

【れいんぼうワークス】

全体としては令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの感染防止に努めつつも、中止していた行事等をどんな形ならやれるか、この2年間の経験を踏まえ、取り組めた一年であった。れいんぼう祭は「みんなのれいんぼう祭」と称して、利用者の方たちのための祭を企画した。何をしたいか、何を食べたいかなど利用者ひとりひとりの思いを聞いて、企画に活かした。祭の雰囲気味わってもらえるよう、バーベキューコンロで焼き鳥を焼いたり、食事はテントや東屋を利用し、座席間隔や時間差をつけるなどの感染対策も十分に取ながら実施した。利用者に楽しんでもらえたことで職員にとっても達成感のある活動となった。他にみかん狩り、いちご狩り、初詣なども少人数のグループで日程を組み実施した。

ボランティアとの交流も、福祉と学生を結ぶサイト「musubun」の代表とつながり、12月には7名の学生が来所。利用者とマンツーマンでクリスマスオーナメント作りを楽しんだ。2月には「オンライン節分」を企画し、全国から16名のボランティアが画面越しに鬼となって参加。この企画はテレビ取材も受け、利用者はもちろん親御さんにも喜んでいただけた。また、日常の様子などをInstagramで発信することも本格的に始めるようになり、れいんぼうワークスの活動を広く知ってもらえるようになってきている。

生活介護事業所については、農作業では引き続き自然栽培パーティの活動に参加しながら、栽培計画に基づく種まき、苗植えをほぼ順調に進めることができ、安定した収穫に繋がった。オクラなどの夏野菜は順調に育ち、また秋には昨年の反省を活かし、さつまいもの植え付け間隔を狭めたことで手ごろなサイズのものをたくさん収穫することができ、自然栽培パーティの「旬を旅する野菜セット」など昨年以上に販売先を広げることができた。また新たに愛知農福マルシェや東別院マルシェに出店するなどし、全体として野菜販売の売り上げは昨年比約1.15倍になった。

自動車部品の検品等内職作業については、作業量は多くはないが安定して入り、引き続き利用者にとっては大切な活動の一つとなっている。刺繍製品などの自主製品については、コロナ禍もあり厳しい状況が続いている。

共同生活援助事業所では、昨年度に続き、利用者、親御さんとの個別懇談を実施した。あらかじめ場所や時間を伝えるなど個別の配慮をすることで、昨年より落ち着いて参加できる方が増えた。365日営業に向けて週末の体験利用をホーム毎に設定し、10月から3月にかけて全ホーム実施した。利用者の日中の過ごし方などあらためて課題を知ることになった。支援者確保に向けてはホーム見学会を2月に実施した。ウェブ参加も含め4日間合わせて12名の方が来所され、そのうち2名が支援者につながった。

職員の育成としては発達障害対応研修に加え、後藤理事長による療育研修、また有期契約職員に向けては、主任が講師となり、意思決定支援を学んでもらう「リフレーミング研修」を行った。その他施設外研修はオンラインが主であったが、野澤ゼミの受講2名を始めとして積極的な参加を奨励した。

職員の体制としては今年度も日中とホームの職員の連携協力によりれいんぼう全体として利用者支援にあたることができた。

2. さわらび園の事業状況

(1) 障害児通所支援事業

1) 児童発達支援事業（園児）

①利用状況

○年齢・男女別（中途退園・入園を含む）

学年齢	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	9	7	2	7	25
	女	2	2	2	0	
計	11	9	4	7	31	31

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	30	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	
日数	18	16	19	21	17	18	21	21	18	18	19	18	224
人数	411	385	524	541	430	442	541	524	475	404	430	404	5,511

○主な障害 <ASD=自閉スペクトラム症>

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	14	3	17
ADHD	1	0	1
知的障害	8	1	9
ダウン症	0	1	1
言語発達遅滞	2	1	3
計	25	6	31

○通園区域別

名古屋市							
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	7	名東区	19	守山区	3	昭和区	1
瑞穂区	1						

○K式発達検査実施状況（検査実施児童のみ）

DQ	20以下	21～35	36～50	51～74	75以上
人数	0	2	2	5	2

②令和3年度新入園児状況<途中入園も含む>

○年齢・男女別

学年齢	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	7	3	1	1	12
	女	2	1	0	0	
計	9	4	1	1	15	15

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD・知的障害	7	1	8
知的障害	4		4
ダウン症		1	1
言語発達遅滞	1	1	2
計	12	3	15

③令和3年度卒退園児状況（進路先・男女別）

進路先	特別支援学級	特別支援学校	保育園	幼稚園	児童発達支援センター	計	
市	男	6	1	1	2	0	10
	女	0	0	0	1	1	2
計	6	1	1	3	1	12	

④主な実施行事

4月	5月	6月
4日 入園式		22日 健康診断 26日 父親参観日
7月	8月	9月
3・10・17日 父親参観日 6・8日 七夕行事 19・20日 新入園児歓迎会 29～30日 宿泊療育(ぞう G)	5～6日 延長療育(きりん G)	
10月	11月	12月
9・10日 さわらび運動会 14日 第2期始業式	5～6日 宿泊療育 (ぞう・パンダ G) 12～13日 宿泊療育 (きりん・コアラ G) 16日 芋掘り(年長児) 27日 父親参観日 30日 健康診断	4日 父親参観日 父親学習会 23・24日 クリスマス会
1月	2月	3月
		3・4日 学習発表会 17・18日 お別れ会 20日 卒園式 25日 終業式

*誕生会は各グループごとで実施。歯科検診は3回実施。

*遠足、親子療育キャンプ、節分の行事は中止。宿泊療育(夏)は一部のみ実施。

*母親研修会中止

<主な行事の参加状況>

ア) 宿泊療育<さわらび園にて実施>

○宿泊療育(夏)参加状況

7/29(木)～30(金) 参加対象:ぞう G /参加園児:6名

8/5(木)～6(金) 参加対象:きりん G /参加園児:6名

○宿泊(秋)参加状況

11/5(金)～6(土) 参加対象:ぞう・パンダ G /参加園児:14名

11/12(金)～13(土) 参加対象:きりん・コアラ G /参加園児:11名

イ) さわらび親子療育キャンプ ・コロナの状況を踏まえて、中止

⑤保護者の学習

○母親の学習

・母親グループカウンセリング(グループごとの実施/10:30～11:45)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	6	0	6	7	3	0	8	12	8	4	0	1	55
延人数	28	0	35	34	18	0	46	74	38	22	0	5	300

*宿泊療育のビデオによるフィードバック、ペアレントトレーニング、サポートブック作成学習会、母親体験発表、母親学習会(年長児保護者対象)含む。5月・9月・2月については、緊急事態宣言およびまん延防止重点措置の期間中だったため、中止。

・その他: 発達相談・個別相談実施

○父親の学習

・父親参観日(夏) 6/26・7/3・10・17(土) 参加人数:19名/療育参観及びグループ懇談
(冬) 11/27・12/4(土) 参加人数:25名/療育参観

・父親学習会:12月4日(土)/参加人数17名/卒園児父親の体験談(オンライン)

⑥その他(電話による連携) 特別支援学級1回

2) 保育所等訪問支援事業

(利用状況)

○契約者数 (年齢・男女別)

学年齢		3才	4才	5才	9才	計
市	男	2	3	3	1	9
	女	1	0	0	0	1
計		3	3	3	1	10

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	8	7	11	13	5	1	11	12	17	10	3	10	108
事前	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	6

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園	小学校
箇所数	3	3	1

(2) 障害児相談支援事業【利用状況】

○契約者数 (年齢・男女別)

学年齢		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	計
市	男	10	10	6	9	11	11	9	8	6	4	1	0	85
	女	2	3	3	4	5	3	3	7	3	0	0	1	34
計		12	13	9	13	16	14	12	15	9	4	1	1	119

○月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	46	19	4	5	4	11	10	4	10	3	9	8	133
モニタリング	5	3	6	11	10	32	9	6	5	9	1	4	101
基本相談	2	2	3	0	3	3	7	3	1	3	2	3	32
事業所連携	20	29	21	19	7	35	9	20	12	19	30	27	248
計	73	53	34	35	24	81	35	33	28	34	42	42	514

(3) 療育グループ事業

1) りとるぐるっぶ(就園前G)の状況 *令和3年度利用者は50名。園児への移行は8名。内、入園決定後のグループ移行は2名。

○年齢・男女別

学年齢		0才	1才	2才	3才	小計	総計
市	男		11	24		35	50
	女		5	10		15	
計			16	39		50	

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	17	22	22	28	30	30	31	32	37	38	38	44

○通園区分 (令和3年度利用者)

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	27	名東区	20	守山区	2	昭和区	1

○主な障害 (令和3年度利用者)

障害名	男	女	計
ASD (疑い含む)	13	7	20
ADHD (疑い含む)	2	0	2
アスペルガー	1	0	1
言語発達遅滞	3	0	3
場面緘黙症	1	0	1
境界域	1	1	2
インテーク済	12	6	18
未受診	2	1	3
計	35	15	50

○療育回数及び出席延人数（2部制での実施）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	12	10	20	17	0	30	18	18	24	18	18	12	197
延人数	37	31	75	62	0	92	68	73	112	76	81	71	778

○母親グループカウンセリング（コロナのため、中止）

2) 親子教室「ジョイフル」（並行G）の状況

*令和3年度利用者は32名。内、園児への移行は1名。

○年齢・男女別

学年齢		2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男		12	6	8	26	32
	女		2	3	1	6	
計			14	9	9	32	32

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	28	28	28	27	25	25	27	28	28	27	27	26

○通園区分（令和3年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	12	名東区	18	守山区	1	東区	1

○主な障害（令和3年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD	14	2	16
ADHD	6	2	8
ダウン症	1	0	1
言語発達遅滞	3	0	3
軟骨無形成症	0	1	1
正常域	1	1	2
不明	1	0	1
計	26	6	32

○療育回数及び出席延人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	6	4	8	6	0	10	6	6	8	6	4	4	68
延人数	29	19	35	28	0	32	25	26	36	18	13	18	279

○母親グループカウンセリング（コロナのため、中止）

3) 学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中1	中2	中3	小計	総計
市	男	9	6	7	2	3	5	0	6	4	42	60
	女	3	2	1	3	4	2	1	2	0	18	
県外	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		12	9	8	5	7	7	1	8	4	61	61

○令和3年度新規学童入所 ・名古屋市 12名

○療育(放課後クラブ含む)およびグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	4	6	2	2	0	0	4	2	6	4	2	2	34
	人数	38	35	16	14	0	0	33	19	42	11	9	13	230
GC	回数	3	0	0	3	0	1	3	3	3	0	0	3	16
	人数	15	0	0	17	0	4	20	5	10	0	0	16	87
クラブ	回数	8	2	2	5	6	0	8	7	5	3	0	2	48
	人数	38	6	9	28	23	0	35	31	26	15	0	11	222

○学校種別 ・特別支援学級 43名 ・特別支援学校 8名 ・通常学級 10名

○その他 ・療育Gキャンプ、母親の会合宿、中学生合宿 中止 ・学童療育母親学習会 中止

(4) 職員研修及び職員派遣

1) 職員研修

- 施設内研修 (法人事業報告参照)
- 施設外研修 児童発達支援施設現任職員研修会等・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等
名障連・名古屋市関係：専門研修・基礎研修・中堅職員研修・職種別研修・施設見学等
施設長研修：福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等
(コロナの影響を受けて中止、またはオンラインでの開催等への変更)

2) 職員派遣

- 名東保健センター (乳幼児発達相談)：毎月第3水曜日午前/心理判定員(大澤夕佳)派遣
- 千種保健センター (親子教室)：毎月第2火曜日午前/心理判定員(平野飛鳥)派遣
- コアラの会 (千種区親の会)：毎月第2木曜日午前/相談員(大澤夕佳)派遣
- 千種区障害者自立支援連絡協議会定例会及び子ども部会：毎月1回
- 名東区障害者自立支援連絡協議会 そだつ部会 (児童部会)：毎月1回
- 父親のグループ (令和3年度)
クラブヤジオ (会員：約18名/本人年齢：16~22才)
かたつむり (会員：約20名/本人年齢：12~15才)

3. 成人各施設の事業状況

(1) 利用者状況 (令和4年3月31日)

1) 日中活動利用者

①年齢層・性別 <()は内65歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家	1	4	14	32	12	6(3)	42(1)	26(2)	68
れいんぼうワークス	0	4	11	8	0	0	17	6	23
計	1	8	25	40	12	6(3)	59(1)	32(2)	91

②障害支援区分 <()は内65歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
べにしだの家	0	3	16(1)	18(2)	30	1	68(3)
れいんぼうワークス	0	0	3	12	8	0	23
計	0	3	19(1)	30(2)	38	1	91

2) 入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別 <()は内65歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	男	女	
べにしだの家 (施設入所支援)	0	1	3	13	5	3(2)	15	10(2)	25(2)
べにしだ共同生活援助事業所	0	2	9	16	8	1(2)	23(2)	14	38(2)
れいんぼう共同生活援助事業所	0	6	13	10	0	0	21	8	29
計	0	9	27	36	13	5(5)	59(2)	32(2)	92(4)

②障害支援区分 <()は内65歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分 別						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
べにしだ入所	0	0	2(1)	8	15(1)		25(2)
べにしだ共同生活	0	1	14(2)	6	17		38(2)
れいんぼう共同生活	0	2	7	12	8		29
計	0	3	25(3)	27(2)	37		92

(2) 月別利用状況

1) 日中活動 (一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て)

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	22	23	23	21	23	22	23	21	21	21	24	267
生活介護(定員70名)	66	64	65	65	62	63	65	64	64	64	64	64	64

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	23	22	22	23	21	23	23	23	21	22	21	24	269
生活介護(定員20名)	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21

2) 入所・共同生活援助 (一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て)

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	28	28	28	29	28	20	29	28	29	28	26	28	329
共同生活援助(定員44名)	30	31	28	32	27	32	32	31	28	28	32	28	31

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	22	21	23	22	18	22	22	23	20	20	22	23	22

3) 日中一時・短期入所 (月毎延べ利用者数)

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	37	13	8	35	26	17	35	33	36	19	24	38	321
短期入所(定員2+空床)	86	22	26	89	59	0	107	86	100	60	77	90	802

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	1	3	3	3	2	1	2	1	2	4	1	1	24

(3) 相談支援事業

【べにしだの家】 (延べ件数)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
基本相談	43	72	81	86	54	78	60	100	64	95	79	93	905
サービス等利用計画作成	13	7	3	13	12	9	10	6	12	12	9	6	112
モニタリング	12	22	31	29	29	37	15	23	27	31	30	27	313
自立支援協議会参加				1		1	1			1	2	1	7
計	68	101	115	129	95	125	86	129	103	139	120	127	1337

(4) 作業実績

1) 作業室別・業者別売上

* () 内は前年度増減比 / (単位：円)

【べにしだの家】

第1作業室/クリーニング・自動車部品検査	第2作業室/自動車部品検査	第3作業室/自動車部品組付	ゆう作業室 心身機能の維持増進
業者 売上	業者 売上	業者 売上	
クリーニング(一般他) 737,568	そうぎょう 627,634	三好化工 162,195	
ケイアイ加工 4,794			
737,568 (-12,384)	627,634 (-18,328)	162,195 (-18,260)	
あらいわい作業室/箱折り・自動車部品検査	あらくさ作業室/製パン・自動車部品検査等	その他	合計
業者 売上	業者 売上	業者 売上	
岩田紙器 148,522	製パン 2,003,276	一般 2,540	4,684,410 (+144,146)
そうぎょう 188,475	その他作業 587,373	自主製品販売 37,361	
ケイアイ加工 164,892	さおり・雑貨販売 11,780		
T&M 8,000			
509,889 (-156,604)	2,602,429 (+319,974)	39,901 (+29,751)	

【れいんぼうワークス】

部品等の組付・検品作業刺繍製品等自主製品		農作物生産・販売		合計
業者	売上	業者	売上	
そうぎょう	743,989	マザーキッチン	20,500	1,896,320 (+138,802)
三晃商会	10,376	団体	151,547	
田島蓮園	61,944	その他一般	510,945	
その他受注作業	17,600	法人内事業所	115,124	
加賀悦商店・宮崎	21,560	委託	106,900	
刺繍製品	54,085	委託(法人内)	0	
ダンボール製品	0			
Tシャツ他	12,980			
その他製品	68,770			
991,304(+20,796)		905,016(+118,006)		

2) 工賃 ※年額には、年2回の賞与が含まれている。

	べにしだの家	れいんぼうワークス
令和3年度工賃支給総額	1,573,359	1,051,590
1人あたり支給月額()内前年比	1,928 (-592)	3,810(+156)
最高支給月額	6,050	5,280
〃 年額	65,940	59,750
最低支給月額 〃	180	1,050
〃 年額	2,994	25,820

(5) 各施設活動状況

べにしだの家

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4月	17日：土曜活動 28日：利用者健康診
5月	15日：土曜活動
6月	12日：らいぶ游 19日：土曜活動
7月	17日：土曜活動
8月	7日：らいぶ游 12～15日：夏季休暇 21日：土曜活動
9月	18日：土曜活動
10月	16日：土曜活動 20日：利用者健康診断
11月	13日：うま 27日：土曜活動
12月	4日：うま 18日：土曜活動 19日：らいぶ游 28日：御用納め 29～31日：年末休暇
1月	1～3日：年始休暇 4日：仕事始め 8日：うま 15日：土曜活動
2月	19日：土曜活動 26日：らいぶ游
3月	19日：土曜活動・おうまさんクラブお別れ会

※コロナの影響により、今年度も各行事で中止せざるを得ない状況であった。

2) 健康管理

- * 血圧・体重測定(看護師) / 随時
- * 健康相談(村上医院) / 毎月1回
- * インフルエンザ予防接種(村上医院)・コロナワクチン接種(大菅病院) / 3回接種・希望者接種
- * 健康診断(名古屋公衆医学研究所) / 入所年2回・通所年1回
- * 訪問歯科診療(えびす歯科) / 毎週金曜日
- * PT訪問(たわだりハビリクリニック・リハプロ訪問看護ステーション/利用者9名)

3) 生活実習（プレホーム体験） ※R2年度は実施なし

4) 家族との連携

- a. 家族会 ※コロナ予防のため集合しての開催は3回程度。開催の際はシールド設置の3階食堂で換気をしながら短時間にとどめた。
- b. 家族懇談会 ※コロナの影響により中止
- c. バザー活動 ※コロナの影響により中止
- d. 清掃当番活動 ※コロナの影響により中止
- e. 自立をすすめる会 ※コロナの影響により集合による開催は中止し資料配布
- f. 母親懇親会 ※コロナの影響により中止
- g. きょうだい会 ※コロナの影響により中止
- h. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換 ※コロナの影響により定例会議は行えず。

5) 職員の活動

- a. 各種会議 ※①以外はコロナの影響により縮小、中止の場合あり
 - ①毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
 - ②生活棟会議（南・北棟別に月1回開催）
 - ③作業室会議（月1回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
 - ④ホーム担当者会議（各ホームの情報交換、課題整理）
 - ⑤リーダー会議（毎月1回、各部署のリーダーで総体的な情報共有、課題検討、調整）
 - ⑥虐待防止委員会（毎月1回ヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と防止意識の共有）
 - ⑦ホームスタッフ会議及び本体スタッフ会議（毎月1回、決定事項の確認、伝達、情報交換、ケース検討等）
 - ⑧給食会議（毎月1回、委託業者との情報交換、課題検討、調整）
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加
- c. 施設内研修 ※コロナの影響により中止。
- d. 施設外研修 ※オンラインで開催されたものを選定して参加。

6) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受け入れ状況（コロナ禍の中ボランティアの受け入れを中止）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
べにしだ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あらくさ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b. 実習・見学

(延べ人数)

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学・専門学校・社会人等実習		4	1	1	22	20	1	108	68	0	0	39	89	353
見学者		0	0	0	4	7	0	0	0	2	1	7	1	22
		合計												375

※体験実習校・施設…同朋大学、日本福祉大学、岡崎女子大学、岡崎女子短大、東海医療科学専門学校、東京福祉大学

※その他実習・研修…名古屋市障害福祉サービス事業新規参入者研修

c. 地域交流等

①らいぶ・ゆう ※新型コロナの影響で全てライブ動画の配信とした。

参加者種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者				0		0		0		0		0		0
利用者家族				0		0		0		0		0		0
地域				0		0		0		0		0		0
その他				0		0		0		0		0		0
出演者スタッフ				18		36		40		52		20		166
参加者計				18		36		40		52		20		166

- ②中村区民祭 ※コロナの影響により中止
 ③地域福祉講演会 ※コロナの影響により中止

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応(ホーム加える)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	1	1	3	3	0	5	0	2	0	2	0	17
転倒・転落・衝突	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5
自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他害・物損	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴室内の危険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	1	1	3	3	0	6	0	2	1	3	3	25

※ 服薬関連は例年同様突出して多い傾向にある。二重チェック、マニュアル等々などの対策を取っているがうっかりが多く、職員同士が声をかけ合う状況も希薄であるため、職員同士のコミュニケーションを高めようような根本的な取り組みの必要性を感じる。

れいんぼうワークス

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	22日：みんなのれいんぼう祭（利用者：24名）
6月	自立の会、山の家合宿中止 新人パートスタッフ研修（参加者11名）
7月	山の家合宿中止
8月	家族交流会中止 11～15日：夏期休暇
10月	一泊旅行中止 29日～11/5,10日：みかん狩り（利用者全員）
11月	13日：きょうだい会（参加者13名） 海部津島地域福祉作業所連絡協議会交流会中止
12月	18日：クリスマス会（利用者25名参加） 18日：自立の会（父親ほか：14名） 28日：御用納め
1月	4日：仕事始め 11,12日（午前・午後）：いちご狩り（利用者全員）
2月	3～5日,7日：ホーム見学会（参加者8名）

2) 健康管理

- *健康チェック（看護師／週2回：体温・体重測定記録の確認及び健康相談）
- *健康診断（年1回）
- *予防接種（加賀医院／インフルエンザ希望者接種、新型コロナウイルスワクチン接種第1回目、第2回目）
- *ブラッシング指導…今年度中止

3) 家族との連携

- a. 保護者会および研修：保護者会は毎月1日の開催予定で、4月5月はコロナ禍のため中止としたが、それ以外は感染対策を十分に行い、入れ替わり制の2部制とした回もあった。学習会は中止とした。ホーム懇談会は個別懇談を10月～翌年1月で実施した。
- b. 個別相談：囑託医相談は森省二先生の学習会が中止となり、実施できなかった。
- c. 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、れいんぼう祭のバザー出品のために手作りを製作して施設運営の援助をしていたが、今年度は中止。
- d. 自立の会（28年度より虹の会と一体になる）：父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。（今年度は12月に会食なしで実施）

4) 職員の活動

- a. 施設内においては、①毎日作業終了後の打合せ、②随時行うケース会議、③運営方針の確認・行事計画・事業執行などを協議する職員会議（月1回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセ

メントおよび計画策定会議を実施した。

- b. 法人主催で行われる職員全体研修、新人研修、ケースカンファレンスに参加した。
- c. 施設内研修として、横浜やまびこの里の小林信篤先生によるオンラインでの、年間3回の事例検討研修を行った。
- d. 知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
 新規採用者フォローアップ研修（6月：2名）／権利擁護研修（6月：1名）／
 野澤ゼミ（7月以降全7回：3名）／アンガーマネジメント研修（7月：2名）／
 安全運転講習（7月：1名）／強度行動障害対応研修基礎実践（7月：1名）／
 福祉事業者BCPセミナー（8月：1名）／日中支援部会研修（7月：2名）／
 サビ管更新研修（8月：2名）／困難事例対応研修（9月：1名）／
 東海地区施設長等研究協議会（9月：1名）
 高齢知的障害者支援研修（11月：1名）／全国施設長会（10月：1名）
 自然栽培パーティ感謝祭（11月：オンライン多数）／
 あいち農福連携セミナー（12月：2名）／意志決定支援研修（12月：2名）
 サビ管実践研修（2月：1名）／愛知県職員研究大会（2月：1名）等

5) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

今年度はコロナ禍の影響もあったが社会福祉士実習では2名の受け入れをし、また『musubun』という新サイトとつながり、学生ボランティアに実際にれいんぼうの利用者さんと交流する機会を設けることができた。地域との交流については、祭りができなかったものの、地域の子ども食堂や小学校の校外活動で野菜をおすすめするなど、新たなつながりもできた。引き続き津島市でのマルシェなどの野菜販売も行った。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	0	0	1	4	0	0	3	7	0	6	7	28

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	28	0	15	0	0	0	0	0	43
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	0	34	8	0	0	0	0	42
見学者	0	1	1	6	1	0	11	0	0	3	1	4	28

※実習校・・・日本福祉大学、椋山女学園大学、海翔高校

- c. イベントの開催 れいんぼう祭は形態を変え、事業所内での祭として開催した。
 「みんなのれいんぼう祭」として、利用者の方々の意見を取り入れた内容とした。

6) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
他害・物損	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒・転落・衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4

- ※ 生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。
- ※ 今年度については、服薬についてはホームにいつもと違うスタッフが入り服薬の確認が十分でなかったことで、朝の薬を夕食後に服薬させてしまうことが起こった。確認不足という初歩的なミスであったため、ホームでは誰が支援に入ってもわかりやすい仕組みをとることと、支援に入った者には服薬確認を徹底するようお願いした。また物損については、幸い他害とはならなかったが、突発と思える行動であっても注意深くみればその前兆をとらえて未然に防げることもあったと思われるので、有期契約職員にも共有し、今後の支援に活かすこととしたい。